

1 研究テーマ

情報モラル教育の系統的指導について

2 はじめに

所属校では、過去6年間にわたって人権教育に力を入れてきた。ペア学習を中心に、友だちや担任に認められる場の設定を工夫し、自己肯定感を高めてきた。しかし、インターネット上の人権教育ともいえる情報モラルの視点をはっきり位置付けた学習が少なかった。そこで、より一層の情報モラル教育の充実が不可欠だと考え、年間指導計画等を作成し、指導を試みることにした。

3 研究目的

児童に「情報社会において適正な活動を行うための基になる考え方と態度」を育てるため、情報モラル教育を充実することとした。まず、児童、保護者へのアンケートを行い、実態を把握し、これをもとに系統的な年間指導計画と指導を行う際に必要な指導資料等を作成する。それらを使って所属校教職員が一体となって授業実践を行うことで、充実した情報モラル教育ができると考えた。

4 研究内容

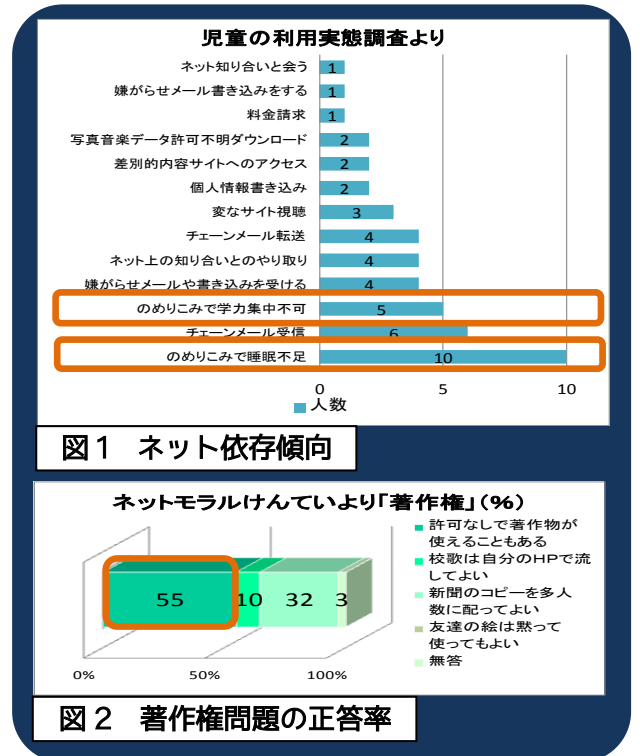
(1) 実態調査の実施と分析

全児童を対象にアンケートを行い、利用の実態を把握した。同様に、任意で保護者の意識も調査した。この結果、ネット依存傾向等の様子が見えてきた。

(図1) また、児童の知識・理解・判断力の実態は広島県教科用図書販売株式会社の「ネットモラルけんてい」を利用して把握した。ここでは、著作権等の問題で正答率が低かった。(図2)

(2) 年間指導計画の作成

実態調査から児童に必要な資質能力を考え、系統性を考えた年間指導計画を作成した。(図3)



① 発達段階・実態に応じた指導内容

- ア 情報メディアの利用開始時期を考慮した。
- イ 規範意識の育ちやすいとされる低学年に「ルール」に関わる指導内容を配置した。
- ウ 所属校の実態から、著作権、メールでのコミュニケーション、ネット依存に関する指導内容を配置した。

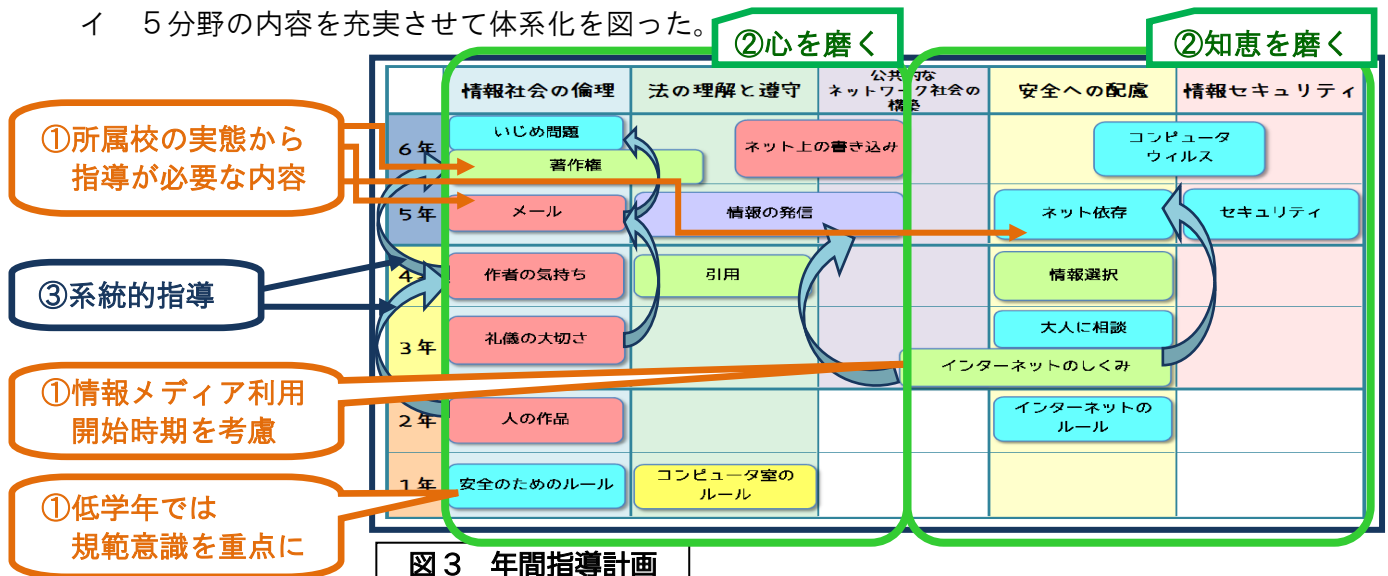
② 各教科のバランスの考慮

- ア 心を磨く領域：道徳を中心に配置、各教科と関連を考えた。
- イ 知恵を磨く領域：総合的な学習の時間、学級活動で実施する。

道徳：ピンク 生活科：黄色
社会科：紫
総合：黄緑 学級活動：水色

③ 体系化・系統化を考えた作成

- ア 指導内容のつながりを考慮し、倫理に重点を置いて系統化を図った。
- イ 5分野の内容を充実させて体系化を図った。



(3)指導者用資料づくり：指導者が使いやすく、指導しやすいように3つの資料を作成した。

①指導展開例一覧表：授業に関する必要な情報を表にまとめた。

②授業展開例：各教科と情報モラル教育のねらい、板書計画、学習過程の例を示した。(図4)

③提示資料：4コマ絵本「とりたろうとたのしいなかまたち」、プレゼンテーション資料等、ネットの特性がわかりやすい提示資料を作成した。(図5)

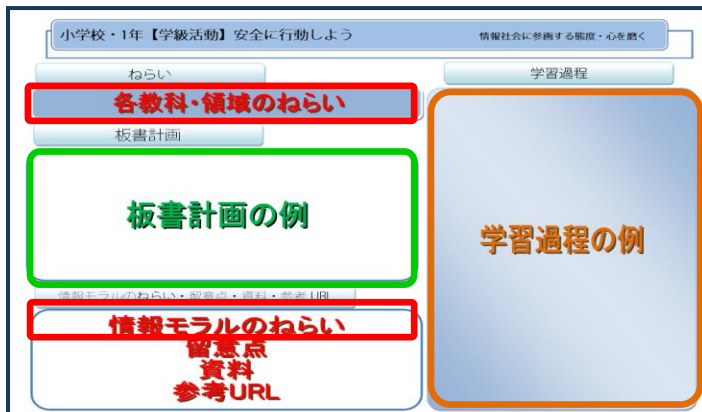


図4 授業展開例



図5 4コマ絵本

(4)授業実践

所属校で、年間指導計画に従い、来年度へのつながりを考えて内容等を選択し、授業実践を行った。

①森尾による授業実践(第2～6学年)、担任による実践(第1・3・4・5・6学年)を行った。

②保護者啓発：「情報モラル教育推進だより」で児童が学んだことや意見を紹介した。(図6)

(5)授業実践後の結果

授業実践後、児童の知識・理解・判断力を調べた。また、教職員の意識を調べ、実践した感想も聞いた。

①児童の知識・理解・判断力の向上

ア 授業に関連する指導内容の正答率が上昇した。(図7)

イ 正答率が100%に満たない指導内容もあり、さらに継続した指導が必要であることがわかった。

②教職員の実践意欲の向上

「年間指導計画に入ると行動しやすい」「授業を見たり実践したりすると自信につながる」等の感想が聞かれ、意識調査でも実践意欲が向上した。(図8)

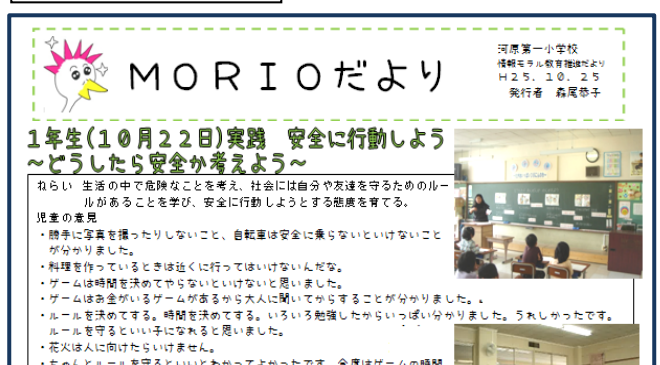


図6 情報モラル教育推進だより

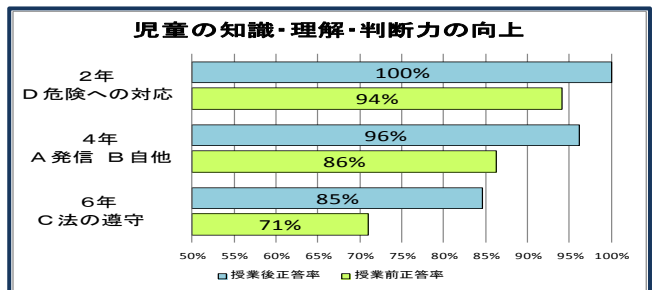


図7 授業実践後の結果

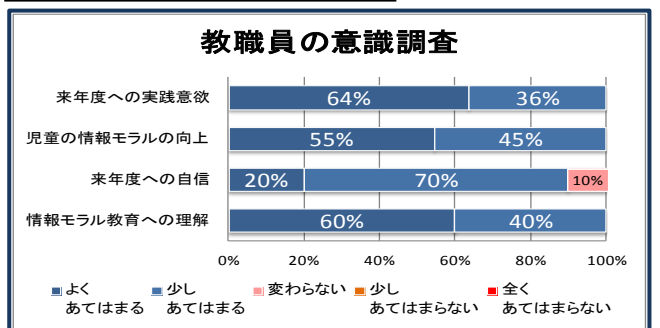


図8 教職員の実践意欲

5 研究のまとめ

この研究を通して、所属校教職員の情報モラル指導への実践意欲も高まり、協力体制が整った。系統的に指導可能な年間指導計画も作成でき、来年度からこの年間指導計画、指導資料等を活用することにより、ますます情報モラルに関する児童の知識・理解・判断力が高まることが期待できる。

6 今後の課題

社会情勢、児童生徒の実態の変化に対応し、情報モラル教育の体系化と系統化の適正を図るために、年間指導計画や指導資料の継続的検証が重要である。特に中学校で実践と検証が必要である。また、より広く活用してもらうため、中学校区の学校にこの年間指導計画や指導資料等を提案し、連携を図りたい。

7 おわりに

ICT活用を促進させる方向性が「教育の情報化ビジョン」で文部科学省により示されている。情報モラル教育は、それを支えるために同時に進めねばならない喫緊の課題である。これからは、他の学校でも情報モラル教育が進んでいくと考える。